

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アナベルキッズ		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日		2025年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		2025年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・体験型・五感を育むプログラムの充実	・「五感を育む」ことを軸に、自然体験・感触遊び・音楽活動・食育など多様な活動を実施。 ・季節ごとのイベント(田植え、収穫体験、遠足など)を取り入れ、自然の中で学べる機会を提供。 ・体験を通じて、こどもが自分で考え、決定できる場面を増やす。	・地域の施設や専門家と連携し、より多様な体験プログラムを導入。 ・こどもの興味に応じた選択制プログラムを充実させ、主体性を育む機会を増やす。 ・野外活動の機会を増やし、自然とのふれあいをより重視した療育を推進。
2	・職員の専門性とチームワークの高さ	・定期的な職員研修を実施し、最新の支援技術を学ぶ機会を提供。 ・職員間で定期的にミーティングを行い、支援方針の共有と調整を実施。 ・それぞれの職員の得意分野を活かし、チームとしての支援力を高める。	・適切な情報収集により、最新の支援技術やアイデアを取り入れる機会を拡充。 ・職員のキャリアアップ支援を図り、資格取得やスキル向上をサポート。
3	・保護者との連携が密接	・保護者との定期的な面談や連絡を実施し、こどもの成長や支援の進捗を共有。 ・連絡アプリやSNSを活用し、こどもの活動の様子をリアルタイムで発信。	・保護者同士が交流できる機会(座談会・相談会など)を検討し、情報共有の場を充実。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されているが、保護者への認知が不十分である。	・マニュアル等について「見える化」が十分でない。	・定期的にマニュアルの見直し・改訂を継続していきたい。 ・当該マニュアル等を保護者と共有できるようにLINE等で発信していきたい
2	・事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、等その他必要な訓練が行われているが、保護者への認知が不十分である。	・訓練結果等について「見える化」が十分でない。	・訓練結果等において、HUGだけでなく、LINEも活用して保護者への共有を図る。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アナベルキッズ					公表日	2025年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用人数に対し、十分なスペースを確保し、支援している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・指定基準に基づいた職員配置を行っている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・利用児の状況に応じて絵カードを活用するなど、視覚的情報を適度に取り入れるよう配慮している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	○		・小まめな清掃や換気を徹底し、清潔な環境づくりに努めている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別対応が必要な場合に備えて間仕切り等を設け、対応している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・支援内容に対し、反省や目標を掲げ、振り返りや見直しを逐次行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・結果を踏まえて逐次業務改善を行っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・結果については、Lineworks等で職員間の共有を図り、改善内容については、ホームページへ掲載している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			・今後、検討予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・伝達研修、支援実施後のOJT等実施している。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○			・2025年3月よりwebサイトにて公表予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントを実施し、こどもの様子や保護者のニーズを分析した上で児童発達支援計画を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援会議を通じて各職員の意見等を取り入れながら支援計画を作成している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・HUGシステムを活用して職員間の情報共有を図り、計画に沿った支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・児童発達支援計画に沿った支援を行っている。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援ガイドラインから必要な支援項目を選択し、支援内容を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・季節に応じた活動の取り入れ等、利用児の現状に応じて活動内容を工夫している。 ・固定化されないよう活動終了後、振り返りをし次の活動に反映している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節に応じた活動の取り入れ等、利用児の現状に応じて活動内容を工夫している。 ・固定化されないよう活動終了後、振り返りをし次の活動に反映している。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個々の課題に応じて、個別支援計画を作成、活動を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・活動案を作成し、共通理解を図りながら利用児の現状や活動内容についてミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・活動終了後、支援内容や利用児の行動について職員間で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・HUGシステムを使い、毎活動終了後に保護者へお知らせし、また個別のケース記録を残すことを徹底している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・管理者兼児童発達支援管理責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて対応している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・利用児童個々の状況に応じて、幼稚園、保育園等との情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学教員相談時の情報提供等、個々のニーズに基づいた対応をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		・必要に応じて連携等を図っていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域のこどもたちとかわる機会として、ハロウィンイベントを開催している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・HUGシステムを活用した日々の活動報告や定期の面談等において共通理解を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・定期的な面談や送迎時等、保護者と顔合わせをする機会にて都度情報提供を行っている。	・先に加えて、LINEアカウントでの情報提供も検討していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に丁寧な説明を心掛けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメント時や計画の同意を得る際などで、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・契約時に丁寧な説明を心掛け、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者からの悩みや相談に対し、面談を実施するなどして都度助言や支援をしている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者の意見等も踏まえながら開催を検討する。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・迅速、適切な対応を心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・webサイトやinstagram、HUGシステムなどを活用して活動概要や行事予定等を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取り扱いには十分配慮している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・意思疎通や情報伝達のため、配慮をしながら支援をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域の有識者の協力をいただき、野菜の収穫体験等、地域資源を活用した事業運営を行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・契約時の説明で対応している。	・閲覧に関しては配慮不足があるため、SNS等活用し閲覧に供することができるよう内容を検討する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・絵本による災害学習や避難場所の経路確認訓練を実施した。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・初回アセスメント時の確認と随時保護者からの情報提供にて対応している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・初回アセスメント時の確認と随時保護者からの情報提供にて対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づいて対応している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・関係法令に基づいて対応している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・発生の都度作成し、職員間で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・県社会福祉士会の開催する研修会に管理者が参加し、その後、各職員へ伝達研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			・身体拘束は行っていない。		

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3	9	4			
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	3				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	4				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16					
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16				・先生方のおかげですぐに環境に慣れ、安心して通所しています。 ・お子さまが通所を楽しみにしているとのこと、大変うれしく思います。引き続き、興味を引き出しながら楽しく通所できる環境づくりに努めてまいります。また、より一層ワクワクできる活動を提供できるよう、プログラムの工夫を重ねていきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16				・週に1回ですが、「今日はアナベル？」と楽しみにしている様子が見られます。 ・安心して通所できているとのこと、職員一同ほっとしております。これからも、お子さま一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して過ごせるような環境づくりに努めます。また、ご家庭との連携を大切に、保護者の皆さまにも安心してお任せいただけるよう心がけてまいります。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				・子どもの発達に合わせて興味があるものや楽しく取り組めるようにいつも工夫を下さり感謝しています。 ・ご満足いただいているとお声を励みに、今後もお子さまの発達に寄り添った支援を行ってまいります。引き続き、お子さまが楽しみながら成長できるよう、活動内容の充実を図るとともに、個別の興味・関心に合わせた工夫を積み重ねていきます。	